

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2単位 法と現代	情報と法	飯田孝也	2年次	秋

授業のキーワード	情報・プライバシー・マスメディア
授業の概要・目的	インターネットの急速な普及は、私達の生活を大きく変化させたようです。講義では、私達が生活する情報化社会が内包している諸問題（たとえば、プライバシー、個人情報保護、ネット犯罪等々）を題材とし、「法と情報の関わり」を理解することに努めます。
履修のアドバイス・ 前提科目等	情報公開、個人情報保護、情報アクセス権その他、かなり専門的かつ細目にわたる法律を考察します。可能な限り平易な用語を用いて講義を進めますが、理解不足にならないよう積極的な質問を期待します。なお、「法学」、「日本国憲法」等を並行して履修するようお勧めします。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	人間と情報	「情報化社会」「情報化時代」とは、一体、何なのかを考えます。	第9講	情報とプライバシー保護3	最高裁判所判例等の考察を通して、我が国におけるプライバシー保護の足跡を辿ってみます。
第2講	生活情報1	「消費生活と情報の重要性」を考えつつ、情報提供の類型化を試みます。	第10講	情報とプライバシー保護4	情報とプライバシー保護4
第3講	生活情報2	消費生活を営む上で必要とされる情報、とりわけ、「表示」や「公告」と法の関連を考えます。	第11講	マスメディア1	情報流通・伝達、コミュニケーション等に関し重要な役割を担うマスメディアの機能その他を考えます。
第4講	情報公開1	「情報公開」という考え方の必要性を明らかにし、その法的制度を概観します。	第12講	マスメディア2	「表現の自由」、「犯罪報道と国民の基本権」等々とマスメディアの関係を法的にアプローチします。
第5講	情報公開2	諸国の情報公開制度、特にアメリカの現状を明らかにし、我が国のそれと比較します。	第13講	コンピュータと情報1	コンピュータと法的諸問題、とりわけ、「著作権法とソフトウェア」の問題を検討します。
第6講	情報公開3	行政・企業は、情報公開に関し、個人情報の保護を含め、如何に取り組んでいるかを考えます。	第14講	コンピュータと情報2	コンピュータと法的諸問題、とりわけ、「コンピュータと犯罪」の問題を検討します。
第7講	情報とプライバシー保護1	「プライバシー保護」の歴史を検討しつつ、その権利の意味するところを考察します。	第15講	試験	
第8講	情報とプライバシー保護2	各国のプライバシー法を概観するとともに、プライバシーの現代的変容を考えます。	評価方法		定期試験 80% 出席状況 20%
備 考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
飯田孝也著・『憲法学プロムナード』(2005年)・株式会社ぎょうせい なお、各自、コンパクトな六法全書を必携のこと			適宜、授業時間内に指示します。		